

△市内米軍施設に係る主な経過について

◆（加納委員） きょうは午前中ありがとうございました。

まずは、この資料1、8月4日、旧上瀬谷通信施設の新たな野球利用について少年野球チームの募集を開始というのは、実際どうなったのでしょうか。今どれぐらいの状況なのか。

◎（青木基地担当理事） 米軍球場につきましては、瀬谷区小学生野球連盟に加入のチームについて募集いたしました。旭区にある上川井球場につきましては、旭区少年野球連盟に加入のチームに募集いたしました。結果でございますけれども、チームとしてここで新たに野球をしたいというチームはございませんでした。

◆（加納委員） なかったのですか。募集をして、結果としてなかったということについて、今振り返ってみて、課題なり工夫なりのことについて問題はなかったのかな。

◎（青木基地担当理事） 全チームに確認したわけではございませんけれども、それぞれのチーム、今時点でグラウンドが確保されているということがまず一番大きな理由でございました。それと、上瀬谷通信施設内にある野球場については、きょうも御視察いただき、御存じのとおり水道もありませんし、トイレもああいう簡易のトイレでございます。そういう環境も、今あるグラウンドに比べて余りよろしくないということ。あと、今草刈りなどの管理は特に必要もないグラウンドのようですが、上瀬谷でやるとなりますと、そういう管理問題も出てまいりますので、そういったトータルのことから、今あるグラウンドで十分という結論が出たのかなと思っております。

◆（加納委員） 次に2ページ。8月24日、相模原市の件ですけれども、これはこれでわかったのだけれども、これを受けて、横浜市内の米軍施設の中で何かさまざまな対応をしているのでしょうかけれども、その辺の情報というのは何か入っていますか。

◎（青木基地担当理事） 横浜市内におきましても、例えば横浜ノース・ドック等に倉庫がありますので、心配事ではあるかと思っておりますけれども、相模原の検証結果を少し落ちつきましたら確認して、本市の安全対策に反映していきたいなと思っております。

◆（加納委員） そうすると、状況を掌握して、本市のその情報ももらって、それで市内の施設との連携で対応を本市としても考えていくという認識でいいのですか。

◎（青木基地担当理事） はい、そのようにしたいと考えております。

◆（加納委員） それから3ページ。委託が4つあるのだけれども、上瀬谷の件で、この2つ、これを公募したのですね。どういう公募をして、どういう現状だったのか。

◎（青木基地担当理事） 公募で委託を募集しております。

◆（加納委員） それはわかるのだけれども、この1社だけですか。1社だけとか、どうしてここに決まったのか、その辺の状況を教えてください。

◎（青木基地担当理事） 今確認できておりませんが、通常の見積もり合わせといたしますか、それで業者を決めております。

◎（小林政策局長） 複数来ていることは今わかるのですが、何社そこに応札したというのが正確にわからないものなので、後ほど資料提出か、別の方法でお願いできればと思います。申しわけございません。

◆（加納委員） それで、どうしてここになったのか。

◎（青木基地担当理事） 最低価格で応札がございましたので、この業者に選定いたしました。

◆（加納委員） こういうところが委託先となって、この方たちと一緒に本市が連携しながら物事を進めていくのだけれども、たかだか1年、今いうと半年たったでしょう。そういった部分では、本当に地元の意見も聞いてもらいたいし、地元の方からすると、そういう委託先があって、そういうことをしているのだということが多分全く見えてないと思うのです。その辺については、先ほども議論があったように地元の意見もしっかり聞いてもらいたいということからすると、地元との接触といったことがもしできるのならば、大いにやってもらいたいものだけれども、その辺はどうでしょうか。

◎（青木基地担当理事） 今後、地元の方々と直接接する機会が多くなるかと思えます。そういう意味で、今加納委員御指摘のとおり、場数を踏んで地元信頼していただけるようにしたいなと思えます。

◆（加納委員） それから資料の3の3ページ。深谷については申しわけないけれども、時間がないので、上瀬谷のところ、午前中視察に行って本当にびっくりしたのは、私もきょうの上瀬谷基地のゲートに入って右側の受信施設、あれは地元の議員でありながら初めてです。ほとんどの方が多分あそこへは行ってないはずですが、今回初めて行かせていただいてね。先ほど花上委員からもあったように、南関東防衛局はきちんと図面を持っているのではないですか。きちんと図面を持っていて、ここは何で、ここから入ると地下になっていて、それが複数の施設が地下でつながっているよというところまで言っているのではないですか。思わず皆さん方にこれちゃんともらってよと言ってしまったのですが、しっかり申請して、この図面をもらって、私どもにしっかりとお示しできるようにしてもらいたい。ああいうものは積極的にもらってください。我々としてももしっかりもらって机上で調査するわけだから、ああいったものを向こうは持っていてこっちがないのでは、仕事にならないと思うのだけれども。しっかり申請してもらってもらえるのかな。

◎（青木基地担当理事） はい。きょう、委員からも直接防衛省に御指摘いただきましたので、私どもからもきちんと提出するよう求めてまいりたいと思えます。

◆（加納委員） そうですよ。しっかりもらって、こっちにもちゃんと情報提供して。本市が積極的に物事を進めないと進まないし、どうか資料についてはしっかりとお願いしたいと思います。

それから、先ほど来の野球の問題でありましたよね。確かに今まで使っていた方たちの問題と、それから、それ以外にあれだけの広大な土地があって、いろいろな形で使い勝手が暫定利用とはいえ、例えばサッカーを初め、あの広い空間の中でドッグランではないけれども、犬を遊ばせるとか、たこ揚げしたりとか、いろいろな団体がいるわけですよ。そういった部分では、今暫定利用の第1段階かと思っているのだけれども、今後、これが落ちついたら、1年なのか2年なのか3年なのかということは一方であるのだけれども、それを踏まえながら、使いたいという団体もグループもいるわけだから、基地対策特別委員会がそれを全部引き受けるわけにはいかないの、例えば地元

の瀬谷区であり旭区であり、そういう区と連携しながら、それから例えば環境創造局や、犬の関係であれば健康福祉局とも連携しながら、そういうものも含めて検討をある段階からは進めてもらいたいだけでも、そういった方向性はあるのですか。

◎（青木基地担当理事） まさに今お使いいただいているのは、暫定利用の第1段階という状況だと思います。今後、跡地利用を定め、そのときに先ほども少しお話しいたしましたけれども、全体の整備まで例えばの話だけでも、15年かかるとした場合に、10年ぐらいは工事に着手しない場所もあろうかと思います。そういう場所については、いろいろな委員からきょう御指摘いただきましたので、全庁的に検討して、市が整備をして、広くお使いいただくということも含めて考えられるときが来るかなと思います。

◆（加納委員） ぜひそれは考えていただいて、そういう団体もいらっしゃるわけだから、ひとつよろしく願います。

それからもう一点、日米地位協定の中での海軍道路の地上げをいわゆる環状4号線のあの一部、海軍道路だね。日米地位協定の中でいろいろな規制と、ある意味では米軍と国との合議のもとにある一定の緩和策という形で、海軍道路と言われている道路の規制が一種かかっているわけですね。それに伴って、例えば環状4号線で私の知る限り、バス路線が通ってないのはその区間だけだったのではないかなと思います。

それで、横浜市の斎場である北部斎場というのが延長線上にあって、特にあの瀬谷とか泉とか幾つかあの周辺のところは戸塚斎場とあわせて北部斎場を使うのですね。でも、そこへのアクセスが非常に難しく、相鉄線沿線から行くと、なかなかないのです。そういったことから、バス路線を早期にと、それは需要と供給の問題があって、あれだけ広大なところに、では誰のものかという問題も一方であるのだけれども、とりあえず日米地位協定の中での海軍道路にかかっている規制がどこまでの規制で、その規制というのは今後緩和してもらいたいだけでも、というか撤廃はされるはずだけでも、その辺の流れを教えてくださいませんか。

◎（青木基地担当理事） 今、加納委員御指摘の共同使用を今までしてございましたけれども、その際に米軍から、5トン以上の積載車については通行できないという規制がかかっておりました。具体的にはこのことについて、交通管理者、県警で総重量の8トン車以上を交通規制しておりましたけれども、今回、返還になりましたし、それ以前からこの規制の問題を解除するように防衛省と協議しておりましたけれども、具体的には、今海軍道路と環状4号を接続する北のほうでカーブの部分について道路工事をしております。これは来年春に完成を目指して今工事をやっているところですが、そのタイミングに合わせて大型車の規制を解除する予定でございます。

◆（加納委員） そうすると、バスの事業者が入りたいと思えば、走れるということですね。

◎（青木基地担当理事） はい。規制がなくなりますので、理論上といいますか、通行可能になります。

◆（加納委員） 先ほど、斉藤委員からもあったように、こちら横浜関内というみなとみらいも含めた観点も一方であるけれども、内陸部であれだけ交通の結節点がよくて、また一方で、厚木飛行場もあり、いわゆる東京だ、相模原だとかいうことを含めると、ある時期九都県市で、防災拠点にという話もあって進んでいるようだけれども、そう考えるとあれだけの広大な土地をどう考えていくかというのは大きいと思うのです。今は、地権者の皆さん方の御意向を踏まえながら粛々やっていくのだろうけれども、横浜市にあの地域、環境であれだけのものがあるわけだから、どうか内陸部の大きなにぎわいというか、あれは横浜の目玉という観点で、今は土壌や地権者の御意向などいろいろなことを踏まえるけれども、あそこの将来像については、本当にそういった観点で見てほしいなど。

そういった観点から言うと、たまたま瀬谷というのは東部方面線で東京から直に、こっちにもつくるし、それからあれだけの広大なところだから、いろいろなものができる。斉藤委員、実は移動手段として、おのずと環状4号線

の人などは非常にいい流れの中にあるわけだから、そういった部分では、鉄道も含めて、そういったにぎわいを踏まえながら考えていただきたいなということを申し上げて終わります。